

熱源機(循環加温ヒートポンプ)

全機種 LD-TECH認証製品(2023年度)

項目	形式	循環加温ヒートポンプ 「キュートン サーキュレーション」 EQA401	
電源		三相 200V 50/60Hz	
定格加熱能力 ※1	kW	40(最大50)	
定格消費電力 ※1	kW	12.1	
エネルギー消費効率 ※1		3.3	
運転電流 ※1	A	37.2	
力率 ※1	%	94	
設定温度範囲	℃	出口温度制御時:40 ~ 75(1℃刻み) 入口温度制御時:40 ~ 70(1℃刻み)	
使用温度範囲	温水出口温度	℃	
	入口温度	℃	
	外気温度	℃	
最大電流[始動電流]	A	77 [5]	
外形寸法(高さ×巾×奥行)	mm	2,048×1,350×720	
パネル色(マンセル)		スタックホワイト(4. 2Y7.5/1. 1近似)	
製品質量	kg	400	
運転質量	kg	405	
圧縮機	形式×個数	全密閉インバータ圧縮機×2台	
	定格出力	kW	
	始動方式	直入始動	
クランクケースヒータ	W	40×2	
凍結防止ヒータ	中間ドレンパン用	W	
	ドレン配管用	W	
	合計	W	
空気側熱交換器		銅パイプ・アルミフィン方式	
水側熱交換器		プレート式(SUS)	
冷媒	種類	R454C[地球温暖化係数GWP=145] 特定不活性ガス	
	封入量	kg	
冷凍機油	種類・封入量	M-MA32R, 4700cc	
送風装置	形式・台数	軸流式×2	
	風量範囲	m ³ /min	
	モータ出力	W	
	機外静圧	Pa	
除霜		逆サイクル方式	
防振・防音装置		圧縮機:防振ゴム, 吸音材付	
保護装置		高圧圧力開閉器, 過電流保護, パワートランジスタ過熱保護, 異常高圧保護, 循環ポンプインターロック ※4	
温水管仕様	入口配管/出口配管		Rc 1 1/2 (40A SUS) / Rc 1 1/2 (40A SUS)
	耐水圧	MPa	1.0
	定格流量	m ³ /h	6.88
	水圧損失	kPa	27
	流量範囲	m ³ /h	1.72~9.00
	最低保有水量	L	363 (機内水量5Lを含む)
	ストレーナ		#20メッシュ 現地手配
	使用流体		水
水質		日本冷凍空調工業会水質ガイドラインJRA GL-02 1994 ※5	
運転音 ※6	dB(A)	59	
外部入力信号機能		運転/停止指令 防雪ファン制御用降雪センサ入力 循環ポンプインターロック	
外部出力信号機能		運転表示出力 点検表示出力 除霜表示出力 循環ポンプ運転指令出力	
設計圧力	MPa	高圧部 4.15 低圧部 2.21	
法定冷凍能力	トン	2.92(高圧ガス保安法適用除外)	
IPコード		IP24	
配線仕様	漏電遮断器		100A (100mA 0.1sec 以下)
	電源用配線太さ		IV線 38mm ² ×3心 端子台ネジ M8
	配線こう長		58m
	アース線		5.5mm ² M6
	信号線		熱源機(X, Y端子)~リモコン(X, Y端子):0.3mm ² ×2心

- ※1 外気温度25℃DB/21℃WB, 温水入口温度60℃, 出口温度65℃における値です。
 ※2 熱源機運転開始から30分以内に入口水温が使用範囲に入るよう、必要に応じて温水配管系内にバイパス等をつけてください。
 ※3 外気温度と運転状態により自動で風量調整を行います。
 ※4 ポンプは内蔵しておりません。お客様手配となります。温水インターロック信号(フロースイッチ入力で代替可)を本製品に入力してください。
 ※5 水質基準を外れるとスケール付着、腐食等の不具合を生ずる恐れがあります。
 ※6 温水入口温度60℃, 出口温度65℃における運転音を示します。実際に据え付けた場合は、周囲の騒音や部屋の反響を受け表示値より大きくなるのが普通です。なお、本体前方1m、高さ1mにて測定した値です。
 ※7 製品仕様は、改良等のため予告なしに変更する場合があります。

別売部品

オプション

オプション	形式	工場組込	現地施工
選択オプション	リモコン RC-EQA	×	○

●耐重塩害仕様 EQA401S

- 耐重塩害仕様は、塩害または大気汚染の影響を受ける場所への設置に最適な仕様となっています。
- 「耐重塩害仕様」は日本冷凍空調工業会標準規格JRA9002に基づいています。
- 据付時のご注意
 - (a) 建物の風下や軒下に設置してください。
 - (b) 海岸線に設置する場合潮風が当たらないように防風版等を設置してください。
 - (c) 水はけのよい場所に設置してください。
 - (d) 据付時についた傷は補修してください。
 - (e) 取り外したサービスパネル取り付けのネジは作業終了後に確実に締め付けられていることを確認してください。
- メンテナンス時のご注意 シーズンオフなどで長時間ユニットを停止する場合はユニットにカバーをかける等の処置をしてください。

※据付時およびメンテナンス時の注意は(P17)をご参照ください。